３　道徳の時間（道徳科）と他の教育活動との関連

＜場の内容・ねらい＞

国語（７月）
「社会とのかかわりを伝えよう」
・身近な社会生活の中から話題を決定し、自分の体験や知識を整理して考えをまとめ、資料などを活用して説得力のある話をすることができる。

学級活動（９月）
「ボランティア活動を振り返ろう」
・地域に役立つ心地よさを共有しながら地域の一員である自覚を高め、一層意欲的に取り組もうとすることができる。

【日常の活動】
〇朝の会
・地域の伝統文化や行事、その時時の出来事に触れ、地域への関心を高める。
・地域活動に関わった思いを交流し、地域の中で育つ自覚をもつ。

〇給食活動
・給食は、地産地消を大切にし、地域の方の願いと共につくられていることを理解し、地域の特色やよさに目を向ける。

道徳の時間（道徳科）（１０月）
「美濃和紙と共に～藤田一夫翁～の半生から～」（藤田　一夫）
内容項目Ｃ（１６）
「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」
・郷土の伝統や文化を守るには、時代の変化の中でも大切にすべき技術や精神を引き継いできた先人の苦労や努力に学ぶことが大切であることに気付き、自分も地域の一員としてできることを考え、更なる郷土の発展に努めていこうとする意欲を育てる。

音楽（１１月）
「日本の伝統音楽」
・日本と外国の楽曲を聞き比べることを通して、伝統楽器のよさを味わい、日本の伝統文化を継承しようとすることができる。

〇帰りの会
・地域のよさやそこに貢献している人々の思いを考え合う中で、自己を見つめる。

〇登下校時
・地域に目を向け、進んで働きかける。

＜生徒の意識＞

・この地域の歴史や文化のよさや魅力を多くの人に知ってもらいたい。
・地域の発展のために、今課題になっていることを問題提起し、みんなに考えてもらうことが大切だ。そのために、様々な機会で説得力のある伝え方をしたい。

・ボランティア活動への思いを交流し、みんなが地域の発展を願っていることが分かった。また、その思いや活動が、地域を活性化させていることも実感できた。

・地域の歴史や文化は、先人達の愛で、守り伝えられてきたものだ。そこで生まれ育ってきたことに感謝と誇りをもちたい。そして、この地域の素晴らしさをこれから先、伝えていくために、自分ができることを考え、行動していきたい。

・地域の伝統文化をこの先もずっと残していくためには、今、自分たちができることを考え、行動することが大事だ。
・伝統文化を継承する地域の取組等に進んで参加し、さらによさを味わったり、伝えたりしていこう。

＜指導・援助＞

・決定した話題について、何をどう伝えるのかを整理し、まとめ方や、資料の活用の仕方を工夫するようにする。
・地域や活動に対する願いを具体的にし、主体的な活動が生み出せるようにする。

・地域を大切にする思いから活動に参加していることを価値付け、その後の活動への意欲化を図る。
・地域の人の思いも考え、地域の中の自分を実感できるようにする。

・地域を愛することから生まれる心の有り様や行動について、多面的・多角的に考えられるようにする。
・地域と自分との関わりに目を向け、地域社会の一員としての今後の生き方についてじっくり考えることができるようにする。

・地域の発展を願って努力を積み重ねている方々から、その様子や思いを聞く機会を設け、進んで発展に努めようとする気持ちを高められるようにする。
・地域の行事に参加する姿や思いを紹介し、その価値を広め、次の意欲付けにする。